

## 第 4 回いなべ市行政改革推進委員会 会議概要

日時・場所	平成 21 年 8 月 5 日 午後 2 時から 員弁庁舎第 7 会議室
出席者	委員：5 名出席（丸山康人、社本治也、松葉まち子、小林久里子、八田栄子） <span style="float: right;">以上敬称略</span>  説明者側：行政改革本部員：3 名（総務部長、企画部長、教育次長） 事務局：4 名（政策課、管財課）
会議次第	1．開会 2 委員長あいさつ 3．議事  公共施設の統廃合について <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設統廃合の基準</li> <li>・公共施設の減免の状況について</li> </ul>
配付資料	1．事項書 2．いなべ市公共施設統廃合に関する答申（案）（資料 1）
審議の概要	審議事項（以下 印は委員長、 印は委員発言、 印は事務局発言） 委員長あいさつ 今回は、いなべ市公共施設統廃合に関する答申（案）をもとに議論をお願いします。 公共施設の見直し基準について 休止・廃止とは取り壊しを意味するのか？ 公の施設については条例で定めております、この条例を廃止することを廃止といっているのであつて取り壊しを意味するものではありません。 用語の定義について整理します。 只今事務局から説明があった基準とそれに基づく評価が、議会や地元住民に納得していただける適切なものであるか議論していただきたい。 施設の廃止を決定した後、放置して置く事が無いように、どのように処分するのかプロセスを明確にする必要がある 利用者が少ないために市の運営から外す場合、少人数の団体からも意見を聞いていただける機会を、設けていただきたい。

ナイター設備を廃止するなど、維持管理コストがかからなくない状態にしてから地元に管理を依頼すると管理を行い易くなる。

施設を廃止する場合は、防災拠点の絡みを整理する必要がある。

はじめに部分の市財政を取り巻く環境が悪化することが予測されています。となっているいが予測でよいのか

不況により財政の悪化は昨年末からの課題であり、公共施設の統廃合に取り組まなければならない本来の課題は、合併により施設が重複したといくことであり、景気が悪くなろうがなるまいが取り組まなければならない課題であり、最初にこのことを記述すべきである。

P 6 の財政面での現状の部分に唐突に 1 5 億 6 千万円という数字が上がっているが、具体的な数字が上がっているのはこの部分だけであり、意味がわかりにくい。

財政面での課題ではなく、施設数が多いというトーマツの分析結果を記述してください。

P 8 の ( 2 ) の部分は を除いてすべて肯定であるが、 も肯定の記述にした方が良い。

P 1 1 の艇庫の記述は、わかりにくいので修正をしてください。

全体の構成として、表紙をめくっていきなり表からはじめるではなく、文章ではじめていただきたい。

審議はこれで最後にして、今日審議していただいた内容で答申案を修正し、個別に委員に説明しに行くということでのよいのか？

それで結構です

今まで一緒に議論してきたのに、最後は個別というのはどうかと思う

それでは次回も全員が集まってそこで議論をお願いします。